

みんながつながる
みんなが輝く
I ♥ ASAO

あさお希望のシナリオプロジェクト

令和 3年 5月23日 麻生区役所



希望のシナリオP Jが目指すもの

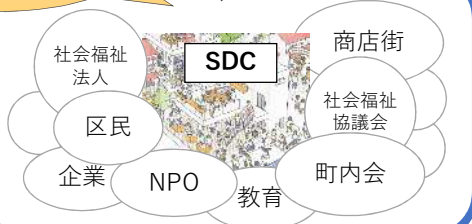
地域
レベル

まちのひろば



相談・コーディネート・
マッチング・場づくり支
援・助言・広報支援

区域
レベル



このプロジェクトが目指すのは…

みんながつながる
みんなが輝く
I ♥ ASAO

必要なもの

- ・新たな参加を巻き込む
- ・効果的な情報発信
- ・つながり

【STEP 1の成果】SDCに必要な機能

1

新たな参加
を促す機能

2

情報収集・
提供機能

3

既存団体間
ネットワーク
構築機能

4

コーディネー
ト・マッチン
グ機能

5

オンライン
での関係づ
くり機能

6

人材育成
機能

7

相談・活動
支援機能

8

調査・研究
機能

【前回の振り返り】SDCの形態について

- SDCは7区横並びに同じものを設けるのではなく、区の独自性を踏まえて検討し、区ごとに設立を目指しています。
- 色々なテーマや規模ごとに複数のプラットフォームが併存することも考えられます。
- 1・2年間試行的にモデルをつくって経験知を共有し、検証しながら、徐々に高次機能を付加していくことが考えられます。

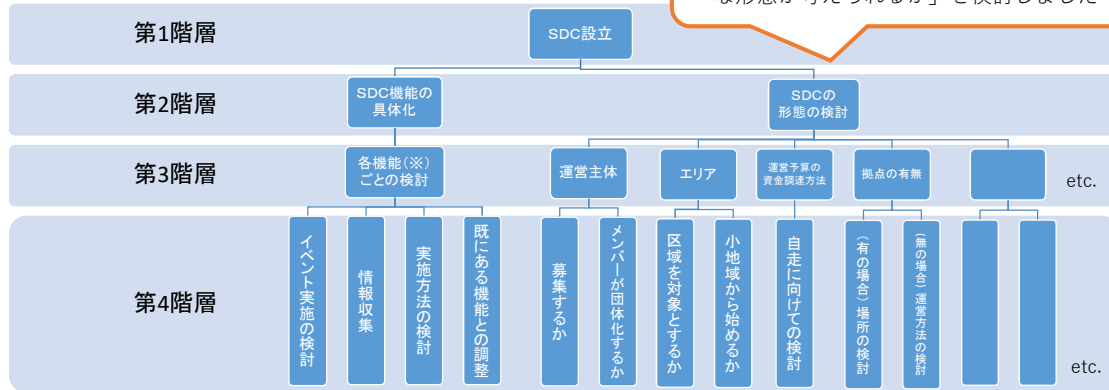
行政の 関わり方

- 旧来の手法である行政事務局の配置や、いわゆる官製NPO法人の設立といった行政主導の関わり方はしないこととしています。
- 運営予算について、立ち上げ時には行政予算の活用も考えられますが、将来的には自主財源による運営を見据えたものとしてください。
- 行政からの委託に頼らず、多様な主体との連携による運営や、多くの主体が知恵を持ち寄り創発していくしくみの検討も必要と考えます。

「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」より

【前回の振り返り】SDC設立に向けて

前回、「SDCに必要な機能」を念頭に、「麻生区にSDCを設立するには、どのような形態が考えられるか」を検討しました



前回の検討で出た意見

活動拠点

- 常設でなくとも、あった方が望ましい
- 情報の集約・発信ができれば必ずしも必須ではない

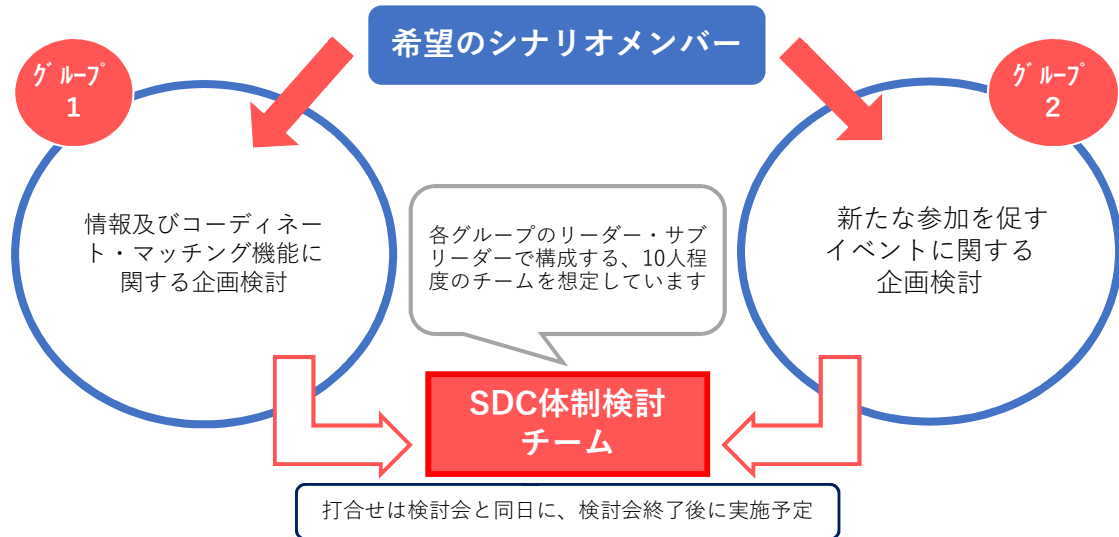
エリア

- 一部地域を対象とした方がよい
- 限定すると視野が狭くなるため全体で考えた方がよい

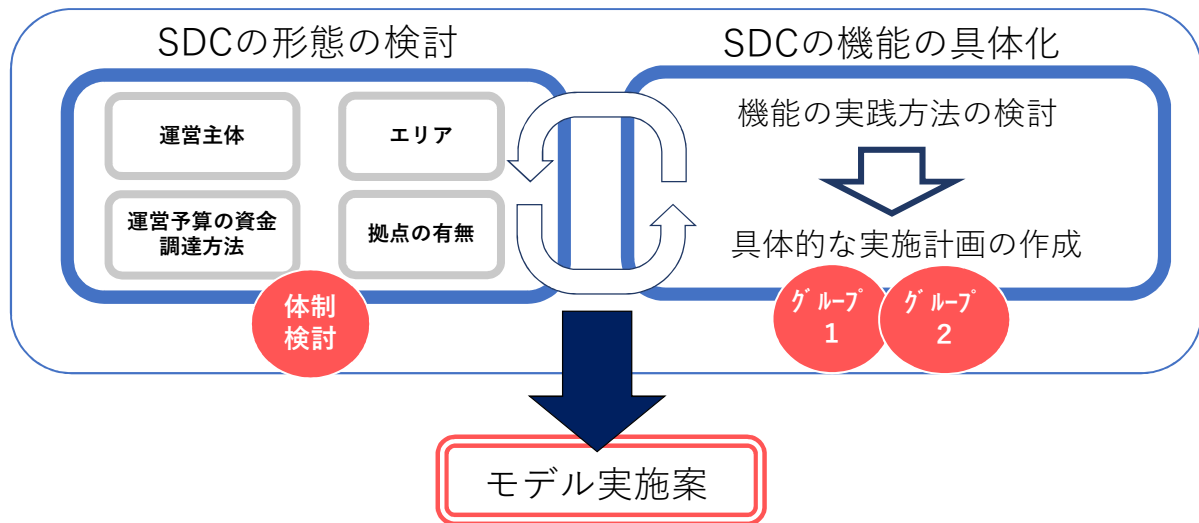
運営主体

- 希望のシナリオメンバー中心がよい
- 具体的に誰がやるか決まらないと、その他の事柄が具体化できない。

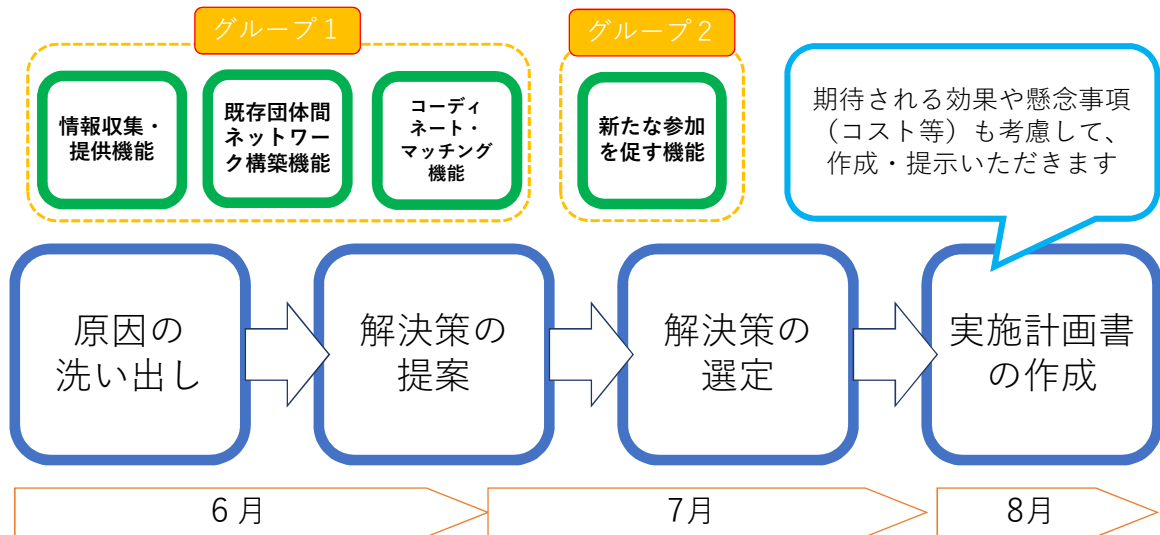
STEP2の進め方



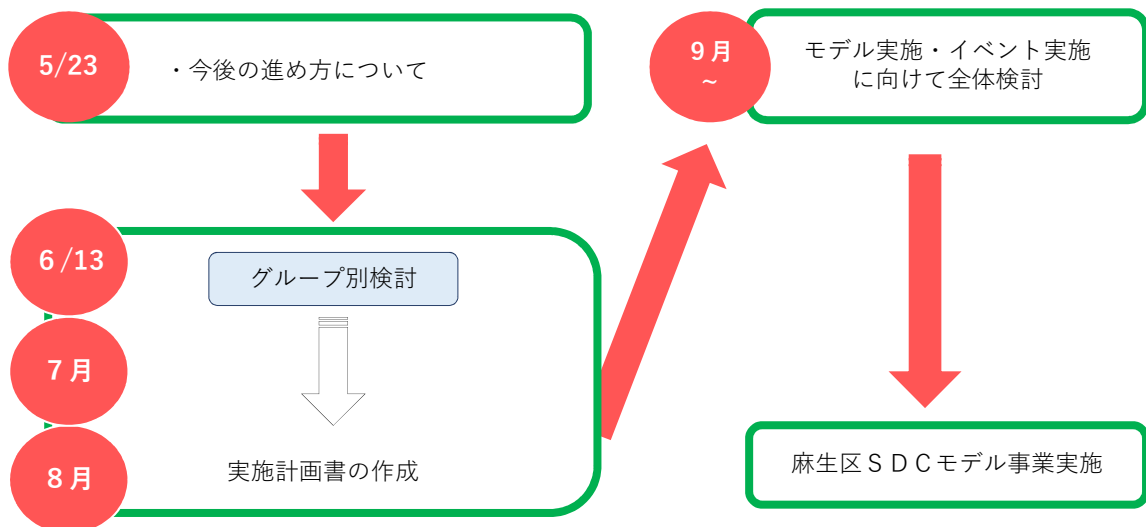
SDCモデル実施に向けた検討イメージ



グループ 検討イメージ



今後のスケジュール（案）



次回（6/13）検討の進め方

6月13日検討会では、以下を決めていただきます。

- 1 リーダー（1名）とサブリーダー（数名）の決定
- 2 ファシリテーターの決定
- 3 会議の進め方（全体会は月1回2時間程度）



本日は、コーディネート・マッチング機能について
検討を行います

本日の検討事項

コーディネート・
マッチング機能

理想

地域活動などについて相談できる
地域のコーディネーターがいる

①

なぜ現在、
コーディネーター
がないのだと
思いますか？



②

どうしたら
コーディネーター
を設置できると
思いますか？